

接岸灯設置パイロットの意見反映 (川崎港東扇島地区)

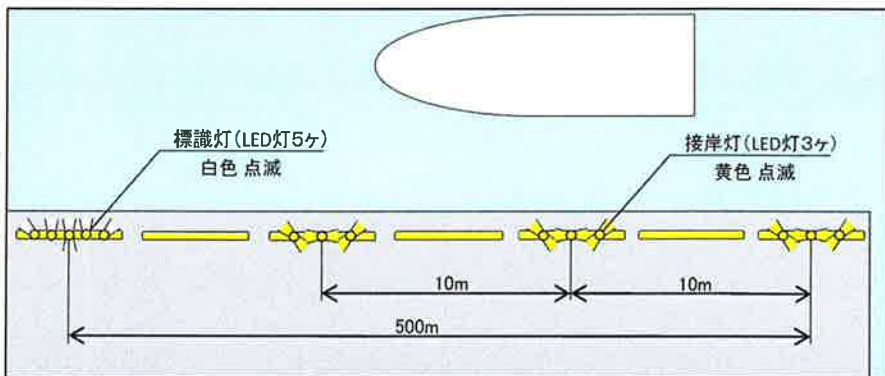
2010
3月号
未来航路ニュース
No.10



川崎市港湾局は東扇島地区3号から9号岸壁において、現在設置されている接岸灯の老朽化に伴い、より高い耐久性とメンテナンス性に富んだ接岸灯に更新するため、平成22年2月2日夕刻、実際の船舶の入港に合わせて直接パイロットの意見を聞く視認実験を行いました。

当社の角型鋼管製車止めに内蔵された標識灯サンプルを用いての実験は岡山県宇野港に続き2回目となりますが、今後こうした取組みはより重要になると考えられます。

実験の結果、港湾局側から接岸灯を10m間隔で設置し、さらに500mごとにより大きな目標となる標識灯を配置する計画案が出されました。



未来航路株式会社
www.miraikouro.co.jp